

回 答 書

入札参加希望者 各位

小平・村山・大和衛生組合管理者

平成29年9月28日付で公告した（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設整備工事に対する質問について、下記のとおり回答します。

記

1 入札説明書に対する質問への回答

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
1-1	6	第2章	1	(2)	ア	「本施設のプラント整備～行う者の要件」の全ての要件を満たさなければならないとありますが、単独企業で本工事にあたる場合、専任の監理技術者の配置につきましては「清掃施設工事業」及び「建築工事業」に係る2つの監理技術者資格者証を有する技術者1名を配置することで、要件を満たしていると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
1-2	7	第2章	2	(1)	ウ	専任の監理技術者の配置につきましては、国交省の監理技術者制度運用マニュアルに記載のとおり、設計期間と施工期間に分けて専任可能と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
1-3	7	第2章	2	(1)	オ (イ)	「不燃ごみ又は粗大ごみの破碎処理設備を有し～」とありますが、破碎処理設備とは高速回転破碎機を有する破碎処理設備と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
1-4	17	第5章	3	(1)	イ 基礎審査図書	用役費について、参考単価を御教示願います。	質問回答書の巻末に示します。【巻末資料1】
1-5	18	第5章	3	(1)	イ 基礎審査図書	(13) 主要な使用許可リストとは、特許リストの誤記でしょうか。	そのように読み替えてください。
1-6	18	第5章	3	(1)	イ 基礎審査図書	“5 その他発注仕様書（別添資料1）に示した計算書、説明書等”とありますが、別添資料1とは発注仕様書と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

2 発注仕様書に対する質問への回答

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
2-1	1-3	第1章	第1節	7	(1)全体計画	施設見学者の駐車場（予定地）から本計画施設の敷地入口門までの見学者等人的の通路を、敷地全体図に図示願います。	駐車場から本施設に直接入ることはありません。最終的な全体配置計画は、組合HPに掲載している「新ごみ焼却施設整備基本計画（素案）9月版」P42 図4-1 全体配置計画案の通り考えていますのでこちらを参考に計画してください。
2-2	1-3	第1章	第1節	7	(1)全体計画	④一般車両動線 “施設見学者の一般車両動線は、・・・分離する”と書いてありますが、P.3-22 6 (2)駐車場 に“必要な駐車場は・・・ごみ焼却施設用地内に確保”とあり、また“敷地内に設置可能であれば提案は可”と記載があることから、本施設内（不燃・粗大施設）に駐車場を設置した場合については、動線を分離すると考えて宜しいでしょうか。	本施設内（不燃・粗大施設）に駐車場を設置可能な場合は、可能な範囲で動線を分離してください。
2-3	1-4	第1章	第1節	7	(4)動線計画	④ “繁忙期における・・・敷地入口から計量棟まで距離を確保し”とありますが、本工場の敷地範囲内において、車両待機場所を確保すると考えて宜しいでしょうか。	(4) 動線計画④は削除してください。
2-4	1-5	第1章	第1節	8	(4)搬入道路	添付資料 敷地内配置計画図が貴組合HPに見当たりませんが、配布頂けませんでしょうか。	入札説明書P12 第4章 1 (1) イ 入札説明書等の配布 に記載の「発注仕様書（別添資料の参考資料等）」にあります。
2-5	1-5	第1章	第1節	8	(5)敷地周辺設備	①電気 将来の新施設との接続にあたり、4・5号ごみ焼却施設の電気盤の改造が必要な場合、その工事は本工事範囲外と考えればよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-6	1-5	第1章	第1節	8	(5)敷地周辺設備	各ユーティリティについて、取合い位置を提示願います。	質問回答書の巻末に示します。【巻末資料2】
2-7	1-8	第1章	第2節	1	(2)計画ごみ質	③破碎を行うごみの最大寸法 ”ウ 共通”とありますが、“ア”と”イ”の共通事項という意味で理解すればよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-8	1-9	第1章	第2節	3	(1)不燃・粗大ごみ処理設備	搬出 鉄類、アルミ類については、堅型破碎機を使用の場合は圧縮不要と考えて宜しいでしょうか。	発注仕様書P2-30に記載のとおり、「選別物の性状により、圧縮成型が困難な場合」のみ金属圧縮機の設置は不要です。したがって、破碎機の形式のみで判断する事項ではありません。
2-9	1-11	第1章	第2節	7	(1)騒音・振動	② 振動基準値 “敷地東側の民家付近における基準を60dB以下とする”とありますが、どの辺りを想定しているかご教示ください。	こもればの足湯の東側境界付近を想定してください。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
2-10	1-13	第1章	第2節	8	環境保全	環境保全目標の達成及び自然環境保全を達成とありますが、具体的な達成基準はありますか。	「生活環境影響調査書」、「発注仕様書」、「(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画(改訂版)」に記載している内容が主となりますが、敷地周辺を取り巻く環境を把握していただき、特に積極的に保全すべき項目等がありましたら提案を期待します。
2-11	1-15	第1章	第2節	9	(2)主要機器の電流値	主要機器は、破砕機、コンベア類、排風機類、各選別機程度と考えて宜しいでしょうか。	詳細は実施設計時に協議しますが、お見込みのとおりです。
2-12	1-16	第1章	第2節	10	(1)安全対策	② ウ “誤って・・・速やかに停止”とありますが、破砕機類は運転中に急に停止すると再起動できない場合がありますので、コンベア停止のみと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりとしますが、警報等により危険を知らせるものとします。
2-13	1-17	第1章	第2節	11	地中障害	予期しない地中障害物 予期しない地中障害物について、工期に影響しその影響で費用が掛かる場合についても、組合殿にて負担いただけたらと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-14	1-20	第1章	第3節	3	(7)	グレーチング グレーチングを基本とするとありますが、P.2-6 ⑨イ 床材料に、“必要に応じチェッカープレートを敷設し、安全に作業ができる構造”とあります。安全に作業ができ、フロア間に熱も籠らない為、強度が確保できればチェッカープレートにしても宜しいでしょうか。	仕様書のとおりとしてください。
2-15	1-25	第1章	第6節	2	(2)	運転指導期間の10日間は、試運転期間中に含まれると理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりですが、性能試験結果確認後も運転指導が必要な場合があります。
2-16	1-25	第1章	第6節	3	(1)組合の負担	人件費 “本施設に配置される職員の人件費”には試運転に必要な人員(手選別要員、重機オペレータ、等運転員)も含まれると考えて宜しいでしょうか。	試運転に必要な人員は、受注者の負担としてください。
2-17	1-31	第1章	第8節	6		かし担保中の定期点検とは、年次点検と理解して宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。なお、建設工事期間中に具体的な実施項目及び実施内容を協議するものとします。
2-18	2-9	第2章	第2節	3	(1)形式	扉形式について、P.3-8 2 ⑤に、“選別残渣や～西側からの搬出を基本”とあり、また、車両も西側から出入することを考えると、ハンガ式を設置するスペースが無い、若しくは90°曲がってハンガー扉に入ることになると思われます。仕様を満足できれば、ハンガー扉以外の形式(オーバースライダー等)にて提案しても宜しいでしょうか。	仕様書の内容のとおりとしますが、有効な形式があれば、提案を妨げません。
2-19	2-10	第2章	第2節	4	(1)形式	ピット、建屋共それほど大きくない為、3扉とするとレイアウト上クレーンとの干渉地帯ができる恐れがある場合は、ダンピングボックス用の扉についてはシャッターとしても宜しいでしょうか。	提案を可としますが、実施設計時に比較検討を行い発注者の承諾を得てください。
2-20	2-11	第2章	第2節	6	(4)付属品	付属品にある安全装置とは、炎検知器と考えて宜しいでしょうか。	検知方法は実施設計時に協議して決定しますが、検知器とお考えください。また、他に安全対策に係る機器がありましたらご提案ください。
2-21	2-16	第2章	第2節	12	(5)特記事項	⑥ 擁壁 擁壁については鉄筋コンクリート製とありますが、P.3-9においては、鉄筋コンクリートに加えて鋼板にて保護とあります。 どちらが正か御教示願います。	後者を正としてください。
2-22	2-17	第2章	第2節	13	(5)特記事項	② 計画日平均処理量 計画日平均処理量とは、定格処理量のことと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。なお、(3)②面積、寸法の項目にある面積以上を確保してください。
2-23	2-17	第2章	第2節	13	(5)特記事項	④ 擁壁 擁壁については鉄筋コンクリート製とありますが、P.3-9においては、鉄筋コンクリートに加えて鋼板にて保護とあります。 どちらが正か御教示願います	後者を正としてください。
2-24	2-19	第2章	第2節	16	薬液噴霧装置	薬液噴霧装置とありますが、P.2-66 (2)その他 ア 薬剤散布機 と被ります。 取扱のし易い可搬式にまとめて宜しいでしょうか。	仕様書のとおり薬液噴霧装置は、常設式とし、薬液散布機は可搬式としてください。
2-25	2-20	第2章	第3節	本文	破砕設備	「衝撃に強いクッション、カーペット、軟質系プラスチックを粗破砕機を経由し、高速回転破砕機へ投入して適切な粒度とする」とありますが、高速回転破砕機で、それら軟質系ごみは破砕できません。破砕機排出口で閉塞します。粗破砕機で破砕した後、残さとしてホッパーに貯留すると読み替えてよろしいでしょうか。	提案を可としますが、詳細は実施設計時に協議します。
2-26	2-22	第2章	第3節	2	(5)特記事項	⑨ 可燃性ガス 堅型の高速回転破砕機は、ローターの回転による送排気作用があり、破砕機内部に可燃性ガスが滞留しにくい構造となっています。 したがって、送気設備や希釈空気の注入設備は不要と考えても宜しいでしょうか。	高速回転破砕機の型式は、メーカーにより異なります。仕様書のとおり、希釈空気の注入等が行えることとしてください。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
2-27	2-23	第2章	第4節	1~3	(3)主要項目	③速度 粗大ごみ供給コンベア以降のコンベア類に関しては、供給コンベアにより搬送量が決まる為、選別に必要な場合を除き特に変速である必要は無いと考えます。 また、変速の為にインバーター類を設置した場合は、ノイズ対策の為に機器も必要となり、P.2-49 第12章 1 (1)基本的な考え方 ②にある保守管理の容易性、省力化とも合わなくなると考えます。 これらより、必要な場合を除き定速として宜しいでしょうか。	提案を可としますが、詳細は実施設計時に協議します。
2-28	2-26	第2章	第5節	1	(5)特記事項	②密閉式 密閉式にするとありますが、磁選機を囲うカバーを設置することによる密閉と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-29	2-31	第2章	第7節	1	(5)特記事項	①貯留容量 容量について、“8以上m3(2日分以上)”とあり、特記事項に“2日分以上かつ10t車1台分以上”ともありますが、貯留容量については、“8以上m3”が正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-30	2-32	第2章	第7節	1	(5)特記事項	①貯留容量 容量について、“8以上m3(5日分以上)”とあり、特記事項に“5日分以上かつ10t車1台分以上”ともありますが、貯留容量については、“8以上m3”が正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-31	2-35	第2章	第8節	3	(5)特記事項	②“集じん後の排気は、全量脱臭装置を通し”とありますが、破碎後の集塵等の臭気の強くない排気は脱臭装置を通さないことは可能でしょうか。	仕様書のとおりとしてください。
2-32	2-39	第2章	第9節	4	表2-5 水槽類仕様	各水槽については、項目を増減してもよろしいでしょうか。 (例：プラント用水受水槽と、井水受水槽を合わせてプラント用水受水槽とする(プラント用水に井水を使用)等)	必要な機能及び容量を満足できれば提案を可とします。
2-33	2-47	第2章	第11節	8	(2)数量	①建設概要説明用 本パンフレットは、工事前の説明用と理解すればよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-34	2-48	第2章	第11節	11	作業用重機	作業用重機について、フォークリフトに冷暖房付とありますが、主に屋内使用であり、冷暖房付の場合、キャビン付となり作業がしづらくなる(見えにくい、聞こえにくい)と思われれます。作業の安全面を考慮し、冷暖房については無しとして頂けないでしょうか。	提案を可としますが、その優位性を明記してください。
2-35	2-50	第2章	第12節	1	(8)盤類の板厚等 ⑤その他	「デスク形及び垂直自立形盤は原則として、前面、裏面とも内丁番式扉付とする。」とありますが、垂直自立形盤において、前面開きのみ(裏面は壁面に設置の盤)につきましては、裏面の扉は不要と考えて宜しいでしょうか。	前面から内部機器が点検時に確認できるものであれば提案を妨げません。
2-36	2-50	第2章	第12節	2	受配電設備	「上記の事柄を考慮した施設設計(不要となった既設粗大ごみ処理施設へ給電していた4・5号ごみ焼却施設の配電用遮断器からの供給切替に備え外構引込用ハンドホールから新設受変電室の引込盤まで空配管を準備しておく)とする。」とありますが、4・5号ごみ焼却施設から既設粗大ごみ処理施設への給電の電路が分かる配線図をいただけないでしょうか。	契約後速やかに貸与します。
2-37	2-51	第2章	第12節	2	(1)電気方式	「受電 AC 3φ 3W 6600V(予定)」とありますが、新施設を受電電圧が6600Vから変更となることがありますでしょうか。	変更はありません。
2-38	2-51	第2章	第12節	2	(2)高圧引込設備	「電力配電線より構内新設第1柱に架空で引込、…」とありますが、新施設を受電用の構内第一柱の位置について御教示下さい。	敷地北側を想定してください。質問回答書の巻末に示します。【巻末資料2】
2-39	2-52	第2章	第12節	2	(6)高圧変圧器盤	電気室面積削減のため、高圧変圧器を低圧配電盤に収納したものとし、高圧変圧器盤を削除しても宜しいでしょうか。	提案を妨げません。
2-40	2-53	第2章	第12節	3	電力監視装置	「最大需要電力(デマンド値)監視を行えるシステムとすること。」とありますが、新施設を受電点での電力値を“発注仕様書2-59頁 2項”の制御監視システムにて表示する方法を本項目の仕様を満足させるものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-41	2-54	第2章	第12節	4	(3)低圧動力制御盤(コントロールセンタ)	(コントロールセンタ)とありますが、本施設は焼却施設と異なり、動力制御盤を機器付近に設置できます。一般的な動力制御盤で見積もって、よろしいでしょうか。	提案を妨げません。
2-42	2-54	第2章	第12節	4	(3)低圧動力制御盤(コントロールセンタ)	低圧動力制御盤は、インシャルコスト、維持管理費を考慮し、コントロールセンタではなく、自立型電磁集合盤として宜しいでしょうか。	提案を妨げません。
2-43	2-55	第2章	第12節	5	現場操作盤 (2)構成	「②点検・補修時の稼働インタロックが行える仕様とすること。」との記載がありますが、①項に記載の操作切替スイッチが現場選択されている場合は、中央からの運転が不可となるようインタロックを組み込むことが記載の仕様を満足するものと考えて宜しいでしょうか。	提案を可とします。
2-44	2-55	第2章	第12節	6	非常用発電設備	「必要に応じて設置」との記載がありますが、停電時の消火ポンプの稼働について、エンジン式を所管の消防局が認める場合は、不要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
2-45	2-56	第2章	第12節	8	プラント照明設備	“集じん器の照明器具”とありますが、集じん機付近に設置する照明との考えで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-46	2-59	第2章	第13節	2	(2)監視	① “中央からの発停（証明含む）”とありますが、照明の誤記と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-47	2-59	第2章	第13節	2	(2)監視 ①ア	「搬入車台数、ごみ搬入量のデータを収集し、ごみ搬入状況、搬出物の搬出状況監視する(将来の計量機移設時に対応できる受け口等を整備)」との記載がありますが、HUBにLANケーブル接続口を設けておくものと考えてよろしいでしょうか。また、搬入車台数、ごみ搬入量のデータ、ごみ搬入状況、搬出物の搬出状況は、LAN経由で既設計量機パソコンのフォルダ内ファイルを確認するという解釈で宜しいでしょうか。	搬入、搬出車両の状況監視（本工事対象外）のため、ケーブルを敷設できるように配管を設置してください。なお、配管は、施設の北西側から中央操作室までとします。搬入、搬出車両の状況確認の方法は契約後に、協議することとします。
2-48	2-63	第2章	第13節	4	ITV装置	「・工事期間中に現在の4・5号ごみ焼却施設内にある事務室及び中央制御室での確認機能は不要とする。」とありますが、“本工事において、4・5号ごみ焼却施設施設内での監視機能を設ける必要がない”との解釈で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-49	2-65	第2章	第13節	4	ITV装置	「敷地監視」のカメラについて、ワイパー付となっておりますが、ドーム式カメラを採用する予定のため、ワイパーの取り付けはご容赦いただけないでしょうか。	仕様書のとおりとさせていただきます。
2-50	3-2	第3章	第1節	2	(1)仮設計画	④ 切回し ア “井水送水は、4・5号ごみ焼却施設に設置してある高架水槽から行う”とありますが、高架水槽の位置をご教示願います。	ごみピット屋上です。
2-51	3-6	第3章	第1節	2	(2)施工	⑩整備工事中の連続測定 イ 騒音・振動の測定 騒音・振動の測定データを“市民の目につきやすい場所1箇所に表示”とありますが、デジタルの瞬時値を表示する程度と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-52	3-7	第3章	第2節	1	(1)意匠計画の基本的な考え方	⑤見学者エリア “見学者エリアには小平市福祉の町づくり条例等の考え方を適用”とありますが、見学者エリア以外においては適用は不要と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-53	3-8	第3章	第2節	2	(1)配置計画における基本事項	②2回計量 “2回計量が・・・配置とする”とありますが、添付資料3：敷地内配置計画図の図面のとおりと考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。なお、最終的な全体配置計画は、組合HPに掲載している「新ごみ焼却施設整備基本計画（素案）9月版」P42 図4-1 全体配置計画案のとおり考えていますのでこちらもご参照ください。
2-54	3-9	第3章	第2節	2	(3)工場棟諸室	①所要室 ア (カ) トイレ プラットホームに設置のトイレについて“男女共同一大2部屋（入口別）”とありますが、どの様に考えれば良いでしょうか。 大便器ブースが2部屋並び、これとは別に小便器室を作る考えでしょうか。 また、小便器については、P.3-9には2箇所とありますが、P.3-12 表3-1 プラットホーム監視員室には1箇所とあります。 どちらが正か御教示願います。	プラットホーム設置のトイレは、男女別に2部屋設け、それぞれ大2とし、男子トイレにはこれに加えて小2としてください。プラットホーム監視室のトイレはこの男女トイレを1組として、1か所と解釈してください。
2-55	3-10	第3章	第2節	2	(3)工場棟諸室	①所要室(スペース) キ 破砕機室、ケ 搬出室、サ 機械室において“防水を考慮した仕上げとする”とありますが、3-15頁 4項 ③床 ア一般床 (ウ)に、“水系統の機器を設置する室及び床洗浄を行う室で、下層に室がある場合は防水を行う。”とあります。床洗浄を行う破砕機室、搬出室、機械室において下層に室がない場合は防水は不要と考えると宜しいでしょうか。	破砕機室、搬出室、機械室は、下層に室がなくても防水仕上げとし、これ以外で、下層に室がない場合は、防水不要とします。
2-56	3-11	第3章	第2節	2	(3)工場棟諸室	③見学者通路 イ 見学者通路の基本思想に将来整備予定の「管理棟、ごみ焼却施設」と南西側2階レベルで渡り廊下で連結する計画とありますが、接続する壁面には接続口を計画するのでしょうか。その場合、具体的な位置や寸法、仕様があればご教示願います。	接続する壁面には接続口を計画してください。具体的な位置や寸法、仕様は実施設計時に協議します。最終的な全体配置計画は、組合HPに掲載している「新ごみ焼却施設整備基本計画（素案）9月版」P42 図4-1 全体配置計画案のとおりです。なお、先に本施設を整備しますので、具体的な位置や寸法は実施設計段階で協議します。
2-57	3-11	第3章	第2節	2	(3)工場棟諸室	(ウ) 3号焼却炉跡地に新焼却炉ができるまでは、見学者は敷地東側（足湯側）から出入りするものと考えて、見学者玄関は東側のみと考えて宜しいでしょうか。その際、玄関は2Fに設置し、2Fへは階段及びEVでアクセスすると考えても宜しいでしょうか。 また、通用口はこもればの足湯との敷地境界へ作成すると考えて宜しいでしょうか。	新ごみ焼却施設ができるまでの見学者動線は未定です。具体的配置は、実施設計段階で協議します。
2-58	3-12	第3章	第2節	2	表3-1	表3-1 諸室にあるデータログ室の使い道をご教示ください。 中央操作室もしくは、クレーン操作室と合わせる事は可能でしょうか。	中央操作室もしくは、これに加えてクレーン操作室にて活用します。両室を合わせる提案は可とします。
2-59	3-12	第3章	第2節	2	表3-1	表3-1 諸室に、クレーン操作室は“中央制御室に原則として併設”とありますが、機器配置上困難な場合は、離れて設置として宜しいでしょうか。	提案を可とします。
2-60	3-13	第3章	第2節	3	表3-2 躯体構造	地上部(下層部)において構造が“鉄骨鉄筋コンクリート造”とありますが、鉄骨造の採用は可能でしょうか。また、破砕機室関係が“鉄筋コンクリート造”とありますが、鉄骨鉄筋コンクリート造の採用は可能でしょうか。	仕様書のとおりとさせていただきます。SRCの提案は可とします。

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
2-61	3-19	第3章	第2節	5	表3-3	屋根材質について“ALC等”と記載されていますが、ALCは振動、吸湿等により、割れや粉落ちが発生します。上部から破片や粉体が落下する恐れがある為、屋根に関しては折半屋根等の鋼板製として宜しいでしょうか。	仕様書のとおりとさせていただきます。
2-62	3-23	第3章	第2節	6	(5) 外構設備	① ユーティリティ引込位置 “ユーティリティ引込位置は添付資料による”とありますが、添付資料に入っていないと思われましてので提示願います。	回答No2-6をご参照ください。
2-63	3-35	第3章	第4節	2	(1) 建築主幹盤	③ ウ ”…「第3章 第4節 3 動力設備」の中央制御盤の…”とありますが、同項にはディスプレイの記載がありませんので誤記と理解して宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。ディスプレイは設置してください。
2-64	3-44	第3章	第4節	6	(3) 内線設備	①内線電話機 内線電話について、固定式とPHS等の移動式の2種類が混在することになっております。利便性を考え、どちらか一方を採用頂けないでしょうか。	仕様書のとおりとさせていただきます。
2-65	4-2	第4章	第1節	2	(3) 詳細調査	詳細調査 詳細調査を実施した結果汚染が確認され、土壌浄化を行う場合は土壌浄化については範囲外と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-66	5-1	第4章	第1節	-	-	解体撤去に関して、下記については、記載のとおりとして頂けないでしょうか。 ・ 什器類や、コンテナ類、不要機器類等は、組合殿にて撤去願います。 撤去しない場合は、数量を提示願います。 ・ 廃バイク、廃自転車等があれば、組合殿にて撤去願います。 (登録等がある持主にて撤去) ・ 監視カメラ等、現状使用している機器設備類に関しては、組合殿については、組合殿にて移設願います。もしくは協議にて決定願います。	1点目については、原則本組合で撤去します。 2点目については、本組合で撤去します。 3点目については、本組合で撤去しますが、一部は協議にて受注者に撤去等を依頼する項目が発生する可能性があります。
2-67	5-1	第4章	第1節	-	-	切り回しを必要とする井水配管に付属している電線管類、及び中継ボックスがありますが、撤去対象と考えて宜しいでしょうか。	不要なものは撤去、使用しているものは切り回しとします。
2-68	5-1	第5章	第1節	1	解体対象建築物	事務所既存図に基礎杭の記載がありますが杭伏図がありません。杭無しと考えて宜しいでしょうか。	仕様書のとおりです。杭の有無は確認できない状況です。
2-69	5-4	第5章	第3節	1	石綿（アスベスト）調査結果	外壁アスベストの除去工法として剥離剤を使用した場合、外壁の地下調整材にアスベストが含有していた場合取り切れない可能性があります。 今回の塗材（吹付リシン）は表層のアスベストのみであり、下地に含有は無いと考えると宜しいでしょうか？	下地に含有している可能性は否定できません。
2-70	5-4	第5章	第3節	1	石綿（アスベスト）調査結果	管理部の巾木は石綿含有とのことですが、管理部とは清掃事務所と置き換え、巾木全てに含有しているものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2-71	5-4	第5章	第4節	1	石綿含有建築用仕上塗材の除去（外壁）	除去工法の指定はありますでしょうか。有れば提示願います。 無い場合、外壁アスベストの除去工法は、石綿飛散漏洩防止対策撤去マニュアルの石綿則第6条ただし書きによる隔離措置と同等の措置となる除去工法で計画して宜しいでしょうか。	除去工法の指定はありません。除去工法は、ご質問の記載のマニュアルの他、発注仕様書P1-40に記載している最新の文献等を踏まえ計画してください。

3 様式集に対する質問への回答

No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
3-1	-	-	-	-	発注仕様書	発注仕様書について、文書データを頂けないでしょうか。	様式11-1に文字データがありますのでこちらを使用してください。
3-2	3	様式第3号 [1/2]	-	-	参加表明書	参加表明書に捺印する代表者印については、貴組合の入札参加資格登録に届け出ている代表社印と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

4 添付資料に対する質問への回答

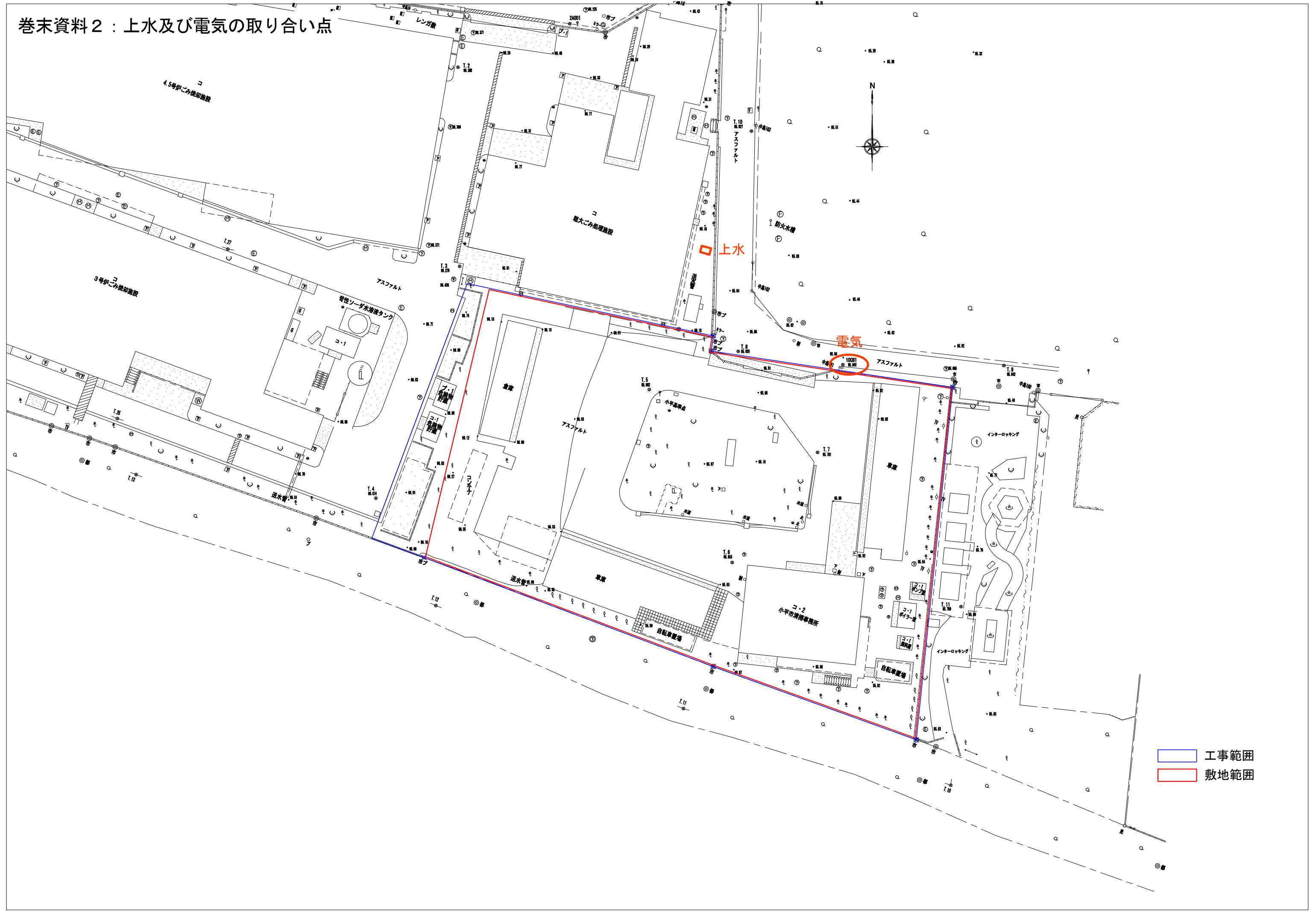
No.	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問の内容	回答の内容
4-1	-	添付資料1	-	-	敷地	施設更新において、工事範囲と敷地とがありますが、建築物及び外構、緑地等は全て工事範囲内に収まれば良いと考えて宜しいでしょうか。 (敷地外ではあるが、工事範囲内に収まる)	敷地内に収まるように設計してください。敷地以外の工事範囲は、解体し、搬入動線として舗装等を施してください。
4-2	-	添付資料8	-	-	井水水質結果	添付された資料について、項目は井水水質結果となっておりますが、表題は再利用水・放流水（処理前水）分析結果となっております。 また、データ内容を見る限りでは、排水の水質となっております。したがって、排水処理前の放流水もしくは、排水処理後の再利用水と思われまして、どちらの結果でしょうか。	廃水処理前の再利用水または放流水の水質結果となります。

巻末資料 1 : 単価表

独自の購入ルートの有無に係わらず、下記の単価を用いること。

項 目		単 価
電 気	電気料金	東京電力による
上 下 水	上水	小平市HPによる
	下水	小平市HPによる
燃 料 等	灯油（ローリー）	75.5 円/L
	軽油	108.5 円/L
	L P G	175 円/kg
油 脂 類	油圧作動油	210 円/L
	潤滑油	100 円/L
	グリース	300 円/kg
	タービン油	1,000 円/L
	コンプレッサ油	250 円/kg
	絶縁油	150 円/kg
そ の 他	消臭剤	700 円/L
	脱臭用活性炭	640 円/kg

巻末資料 2 : 上水及び電気の取り合い点



工事範囲
敷地範囲